

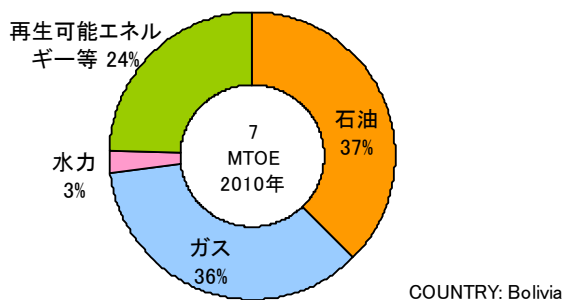
### 3-10 ボリビア

#### 1. サマリー

##### 1. エネルギー事情

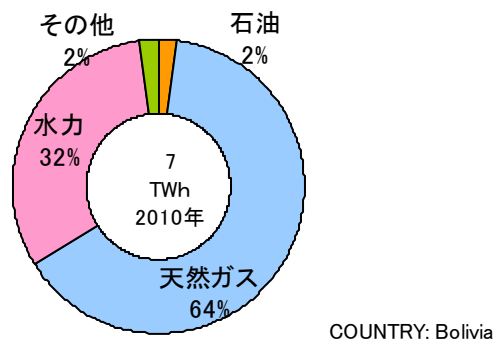
- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 7.32 百万 TOE (日本の 0.02 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.74TOE/人 (日本の 20.0%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 229%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 14.1 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 0.012 倍)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 1.42CO<sub>2</sub> 換算 ton/人 (日本の 15.8%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2011年末) : 原油 13.2 年、天然ガス 18.3 年

一次エネルギー供給構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

発電電力量構成 (2010年)



(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012

### エネルギー政策のポイント

#### (1) エネルギー政策担当機関

- 石油・天然ガスおよび電力部門に係わるエネルギー行政は、炭化水素・エネルギー省 (Ministerio de Hidrocarburos y Energía) が管轄しており、エネルギー部門の国有化や炭化水素のE&Pを促進する政策、施策の意思決定を行う。また、①ボリビア石油公社 (YPFB) は、国内の石油・天然ガス分野におけるあらゆる活動を管理・監督および実行し、②国家炭化水素庁 (ANH : Agencia Nacional de Hidrocarburos) は、石油・天然ガスの供給や譲渡に係わる規制・監督権限を持つ。
- 電力部門の規制や計画の決定は、2009年以降、AE (Autoridad de Fiscalización y Control Social de Electricidad) が行っている。
- 鉱業部門については、鉱業・冶金省 (Ministerio de Minería y Metalurgia) が政策を定め、鉱業の全生産プロセス等に対する管理・監査を実施する。

#### (2) 基本政策

- Morales 大統領は、2010年1月の第2期 Morales 政権発足後、正義と平等と自治を可能にするため、天然ガス、石油、リチウムおよび鉄等の天然資源の採掘を完全にコントロールした生産力ある産業国家を目指すことを目標に掲げている。

#### (3) 最近の動向

- 2012年1月、Morales 大統領は、年間\$7億5,000万にのぼる料補助金の見直しについて言及した。
- 2012年3月、韓国 POSCO 社、KORES 社と COMIBOL は、ボリビア首都の La Paz に、リチウム電池事業を実施する合弁会社を設立することで合意した。COMIBOL は、リチウム電池生産に必要な原材料 (リチウム以外に、ニッケルやマグネシウムも含む) を提供し、一方、韓国2社は、製造技術面でのサポートを行う。

### 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2010年12月、ボリビア電力公社 (ENDE : Empresa Nacional de Electricidad) が計画する地熱プロジェクト「Laguna Colorada 地熱発電開発」に対し、事業推進プロジェクトが JICA によって進められることが決定された。同月 Morales 大統領来日の際、菅首相 (当時) は同プロジェクトについて、まずは 50MW 分の建設を円借款により協力し、残り 50MW 分については、今後のリチウム資源開発の協力関係を考慮しながら検討する旨表明した。

## 2. 主要エネルギー指標

(2010 年)

(1)	一次エネルギー総供給量	7.32	百万 TOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.74	TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.61	TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	229	%
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	14.1	百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	1.42	CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率		
	石炭	0.0	%
	石油	37.5	%
	ガス	35.6	%
	原子力	0.0	%
	再生可能エネルギー等	26.9	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	-129	%
(9)	石油の輸入依存度	11	%
(10)	輸入原油の中東依存度	N/A	%
(11)	原油輸入先 (2007 年)		
	第 1 位	N/A	
	第 2 位	N/A	
	第 3 位	N/A	

(出所) : (1)~(4)、(7)~(9) は、IEA, Energy Balances of non-OECD Countries 2012

(5)~(6) は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2012